

平成23年10月25日

皆さんこんにちは、新宿区長の中山弘子です。

皆さんもご存じのとおり、新宿区は31万人の区民、77万人の昼間人口を有し、また国内最大規模の繁華街や高層ビル群、乗降者370万人の新宿駅を抱える大都市です。

その新宿区では、基本目標のひとつとして、「持続可能な都市と環境を創造するまち」を掲げ、地球環境に負荷の少ないすみよいまちを次の世代へ引き継ぐために、様々な施策を展開してきました。その中で区は、ごみの減量で最も大切なことは、発生抑制であると考え、実現可能な発生抑制施策とは何かを、区民の皆さんや事業者の皆さん、そして区がともに考え、検討していくために、平成20年4月に「新宿区3R推進協議会」を発足しました。協議会では、平成20年7月から、レジ袋を辞退してポイントを貯める新宿区独自の「新宿エコ自慢ポイント」制度を導入したり、毎年10月の3R推進月間には2年連続で「3R推進キャンペーン」と称し、トークショーや環境に配慮した商品の展示販売などを行い、小売事業者、区民団体、区がそれぞれの立場で3Rに取り組む熱意を、区民や新宿区に集まる方々に発信してきました。また、平成21年10月には『新宿発「エコなくらし」3R協働宣言』を行い、協議会メンバーが「3R推進行動計画書」を作成し、各団体の3R推進に向けた具体的な活動を発表しました。

平成20年3月に策定しました「新宿区一般廃棄物処理基本計画」では「ごみ半減リサイクル倍増」を合い言葉に、平成17年と比べて平成29年度までに区が収集するごみ量を半分に、資源化率を2倍にするチャレンジ目標を掲げました。ハードルの高い目標ではありますが、私は決して達成不可能な目標ではないと思っています。そのためには行政だけではなく、国民一人一人と、なにより事業者の皆さんがごみ減量、リサイクルの意識を持って日々努力していただくことが最も重要であると考えていますので、貴団体の拡大生産者責任の法制化を求める活動に、心から敬意を表するところです。また、新宿区議会からも全会一致で意見書が出されています。

本日参加されたお一人お一人が、この集会を契機として、発生抑制と再利用を促進するための仕組みの検討について前向きにお考えいただくとともに、全国の皆さん、事業者の皆さん、そして行政がともに手を携えて、持続可能な社会を実現してまいりましょう。

新宿区長 中山弘子